

# 業務状況説明書

(令和5年4月1日から令和5年9月30日まで)

新座市水道事業

## 目 次

### 1 令和5年度上半期の状況

(1) 事業の概況 .....	1
(2) 経理の状況 .....	2

### 2 令和4年度決算の状況

(1) 事業の概況 .....	3
(2) 経理の状況 .....	3

## 1 令和5年度上半期の状況

### (1) 事業の概況

#### ア 営業

令和5年度上半期における給水人口は165,733人で、前年同期と比べ83人（0.1%）の増加となっており、総配水量は8,522,797m<sup>3</sup>で、前年同期に比べ158,287m<sup>3</sup>の減少となっています。なお、配水量は1日最大では50,346m<sup>3</sup>、1日平均では46,573m<sup>3</sup>となっています。

また、収益的収入の執行率は43.2%で、主なものは水道使用料1,126,044千円です。収益的支出の執行率は26.5%で、主なものは受水費458,301千円です。

資本的収入の執行率は18.1%で、主なものは分担金116,281千円です。資本的支出の執行率は25.8%で、主なものは企業債償還金77,935千円、改良費393,507千円（予算繰越分を含む。）です。

#### イ 建設改良

建設改良事業としては、老朽化した配水管の布設替工事等を実施し、配水管の耐震強化及び漏水事故の防止を図り、有収率の向上に努めています。

また、安全で清浄な水を安定して供給するため、水道施設の老朽化、耐震化及び安全対策をより一層推進しています。

(2) 経理の状況（税込み）

上半期における経理の状況は、次のとおりです。

ア 収益的収入及び支出（営業関係） (単位：千円)

科 目		予算現額	執行額	執行率
収 入	事業収益	2,680,139	1,158,155	43.2%
	営業収益	2,290,062	1,132,633	49.5%
	営業外収益	390,067	25,025	6.4%
	特別利益	10	497	4975.0%
支 出	事業費	2,923,845	775,820	26.5%
	営業費用	2,874,488	760,901	26.5%
	営業外費用	44,606	14,574	32.7%
	特別損失	20	345	1724.9%
	予備費	4,731	0	-%

イ 資本的収入及び支出（資産関係） (単位：千円)

科 目		予算現額	執行額	執行率
収 入	資本的収入	643,508	116,281	18.1%
	企業債	400,000	0	-%
	分担金	152,779	116,281	76.1%
	負担金	90,729	0	-%
支 出	資本的支出	1,945,505	501,639	25.8%
	建設改良費	1,392,477	80,064	5.7%
	〃（予算繰越分）	392,309	343,640	87.6%
	企業債償還金	157,032	77,935	49.6%
	予備費	3,687	0	-%

## 2 令和4年度決算の状況

### (1) 事業の概況

#### ア 業務状況

令和4年度末における給水人口は165, 467人で、前年度に比べ128人(0.1%)の減少となりました。

また、総配水量は17, 359, 588m<sup>3</sup>で、前年度に比べ345, 365m<sup>3</sup>(2.0%)の減少となりました。この内訳は、県水受水が13, 405, 930m<sup>3</sup>(占有率77.2%)、地下水が3, 953, 658m<sup>3</sup>(占有率22.8%)となっています。また、有収水量は16, 464, 730m<sup>3</sup>で前年度に比べ355, 555m<sup>3</sup>(2.1%)減少し、有収率は94.9%で、前年度に比べ0.1ポイント減少しています。

#### イ 建設改良事業

配水管布設工事や配水管布設替工事としての老朽管布設替工事を始め、片山浄水場高架水槽耐震改修工事、取水通信設備更新工事等を実施した。

### (2) 経理の状況（税抜き）

#### ア 収益的収支の状況

収益的収入及び支出における事業収益は、2, 518, 194, 816円で前年度に比べ23, 276, 237円(0.9%)の増加となりました。これは、水道使用料等は減少したものの、他会計補助金等が増加したことによるものです。

一方、事業費は2, 474, 656, 781円で、前年度に比べ109, 621, 486円(4.6%)の増加となりました。これは、職員給与費等は減少したものの、動力費、修繕費、委託料等が増加したことによるものです。

その結果、43, 538, 035円の純利益となりました。

(単位 円)

科 目		決算額	構成比
収入	事業収益	2,518,194,816	100.0%
	営業収益	1,905,141,752	75.7%
	給水収益	1,862,194,587	74.0%
	受託工事収益	3,286,065	0.1%
	その他の営業収益	39,661,100	1.6%
	営業外収益	612,723,875	24.3%
	受取利息及び配当金	1,081,679	0.0%
	長期前受金戻入	302,523,870	12.0%
	雑収益	90,103,685	3.6%
	他会計補助金	219,014,641	8.7%
支出	特別利益	329,189	0.0%
	過年度損益修正益	329,189	0.0%
	事業費	2,474,656,781	100.0%
	営業費用	2,428,024,398	98.1%
	原水及び浄水費	1,153,461,806	46.6%
	配水及び給水費	213,157,283	8.6%
	受託工事費	2,124,500	0.1%
	業務費	170,943,638	7.0%
	総係費	42,871,276	1.7%
	減価償却費	800,371,389	32.3%
資産減耗費		45,094,506	1.8%
営業外費用		45,844,544	1.9%
支払利息		30,815,975	1.3%
雑支出		15,028,569	0.6%
特別損失		787,839	0.0%
過年度損益修正損		787,839	0.0%

#### イ 資本的収支の状況

資本的収入は703,310,500円で、前年度に比べ146,821,400円(26.4%)の増加となりました。これは、分担金及び工事負担金が増加したことに加え、補助金収入があったことによるものです。

資本的支出は1,450,922,439円で、前年度に比べ489,504,088円(50.9%)の増加となりました。これは、建設改良費が増加したことによるものです。

なお、資本的収入が資本的支出に不足する額839,200,505円（税込み）は、当年度分の消費税及び地方消費税資本的収支調整額35,309,828円、過年度分損益勘定留保資金553,890,677円及び建設改良積立金250,000,000円をもって補填しました。

（単位：円）

科 目		決算額	構成比
収 入	資本的収入	703,310,500	100.00%
	企業債	400,000,000	56.9%
	分担金	230,080,000	32.7%
	負担金	40,980,500	5.8%
	補助金	32,250,000	4.6%
支 出	資本的支出	1,450,922,439	100.0%
	建設改良費	1,224,145,844	84.4%
	企業債償還金	226,776,595	15.6%